

問答有用

ワイドインタビュー

580

訪問美容師

藤田 巖

「カット・クリエイティブ21」代表

訪問美容という新しいサービスに藤田さんが取り組み始めたのは、約15年前の2001年。横浜市内で美容サロンをオープンさせ、07年には東京、神奈川、千葉、埼玉の1都3県をエリアとする株式会社「出前美容室 若姪」を設立した。移動式洗髪台などを積み込んだ車のハンドルを握り、スタッフらとともに病院、介護施設、高齢者の自宅を駆け回る毎日だ。

藤田さんは富士通の営業マンを58歳で定年退職してから、美容師に転じた。なぜ、美容師になろうとしたのですか。

藤田 第二の人生として美容師を選んだのは、確か40代に差し掛かった頃、偶然、目にした新聞記事がきっかけでした。施設で暮らす92歳の女性が部屋に閉じこもりがちになってしまったところ、ある日、美容師に髪をセットしてもらったら、とたんに元気を取り戻して施設内を元気に歩くようになったという内容です。私は「お医者さんにできないことを

美容師はできるんだ」と、とても感銘を受けました。

ちょうどその頃、私の母親が病院や施設を出たり入ったりしていて、髪の毛がいつもボサボサになっていく姿も気になっていました。記事中の女性と母親が重なったんですね。女性は幾つになっても、身だしなみに気を使うもの。母親におしゃれをさせ、恩返ししたいという思いもありました。

人の役に立つ仕事を

富士通なら、美容師という畑の違いの道を選ばなくても、子会社や関連会社への再就職の方が、生活は安定したのではないですか。

藤田 確かに、定年後も嘱託として勤務することはできました。また、たくさんの子会社や関連会社もありましたので、転籍や出向という形で勤務することもできたでしょう。実際、多くの同僚たちは、そうしていましたが、少し格好をつけた言い方になります。私は第二の人生は金

聞き手 横山 涉(ジャーナリスト)

「高齢者の『また来てね』が心の支えです」

外出が困難になった高齢者のもとに向き、ヘアカットのサービスを提供する訪問美容師の藤田巖さん(74)。前職は富士通の営業マンという異色の経歴を持つ。



●プロフィール ● ぶじた いわお
1941年、東京都生まれ。日本大学法学部卒業後、富士通機械製造(現富士通)に入社。営業推進部長などを歴任。99年に定年退職。2001年、横浜市栄区に福祉美容室「カット・クリエイティブ21」を開業。現在は東京に支店を構え、訪問美容を展開中。同業者間ネットワーク強化を目指し「LLP全国訪問理美容協会」を創設。理事長に就任し、福祉美容の普及に尽力する。

撮影 佐々木 謙

はインタイン制度なし)、美容専門学校の通信制で勉強することにしました。

会社員を続けながらの「二足のわらじ」です。平日は朝4時に起床して出勤までの2時間に練習を積み、仕事が終わればすぐに帰宅して、また美容師の勉強です。会社には内緒だったので、同僚からは「最近付き合いが悪くなったな」と嫌みを言われたものです。

インタインも一苦労でした。平日は、会社員としての仕事があるため、週末にしかできません。受け入れ先のサロンに会社勤めであることを説明して、どうにか週末だけのインタインを了解してもらいました。どうしても平日の研修が必要な場合は、春と夏の10日間のリフレッシュ休暇などを充てました。そんな生活を2年間続けることでカリキュラムを修了。国家試験は2度落ちて、3度目の挑戦でようやく合格しました。56歳の時でした。

高齢女性にバリカン

同時に、ホームヘルパー(訪問介護員)の資格を取得した理由は何ですか。

藤田 試験に合格した頃、母親に人が見つかり、私とその面倒を見るために、必要かなと思ったからです。57歳の時にホームヘルパー2級の資格を取りました。

実は、ホームヘルパーの資格を取得する施設実習が、私にとって大きな転機になりました。介護しやすいようにと、職員が女性をバリカンで短髪にする現場に遭遇したのです。「髪は女の命」と言います。それを、介護される側の気持ちなども考えずに、雑に扱っていることに、私は大きなショックを受けました。「私だ

「会社員時代よりも忙しくなりましたが、やりがいを感じます」

もうけではなく、何か人の役に立つ仕事ができないものかと考えていたのです。富士通では、定年を見据えた研修として「45歳教育」を実施していました。

その研修の中で、作家の阿刀田高さんが講師に連れられ、「定年後にどう生きるべきか」というモチベーションが大切だ」という話がとても印象的で、私自身もすごく納得できたので、そうした影響もあったかもしれ

ません。具体的な準備は、50歳から始めました。美容師は国家資格です。50歳からの準備では、いろいろと「苦労があったのではないですか」。

藤田 半年くらい、美容関係について下調べしているうちに、「やってやろう」という気持ちが高まってきました。美容師の資格取得には、2年間の学科受講と1年間のインターン(就業)経験が必要だとわかり(現在